

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【公開番号】特開2018-108408(P2018-108408A)

【公開日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-026

【出願番号】特願2018-26004(P2018-26004)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月11日(2019.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な始動口と、

遊技球が入球可能な第2始動口と、

第1の態様と、前記第1の態様よりも遊技球の入球可能性が高い第2の態様と、に変化可能な可変始動口と、

前記第2始動口への入球に基づいて取得した取得情報、及び、前記可変始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第1取得情報記憶手段と、

前記始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第2取得情報記憶手段と、前記第1取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第1識別情報と、

前記第2取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第2識別情報と、

前記第1識別情報が変動表示する変動時間を決定する変動時間決定手段と、

前記第1識別情報又は前記第2識別情報の変動表示の結果が特定結果になると、遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備え、

遊技球を流下する遊技領域として、第1遊技領域と、第2遊技領域と、を有し、前記第1遊技領域又は前記第2遊技領域に遊技球を発射して遊技することを可能とした遊技機であって、

前記変動時間決定手段は、前記第2取得情報記憶手段の記憶態様及び前記第1取得情報記憶手段の記憶態様によって設定される変動条件に基づいて、前記第1識別情報の変動時間を決定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上述の課題を解決するための第1発明の遊技機は、
遊技球が入球可能な始動口と、
遊技球が入球可能な第2始動口と、
第1の態様と、前記第1の態様よりも遊技球の入球可能性が高い第2の態様と、に変化
可能な可変始動口と、
前記第2始動口への入球に基づいて取得した取得情報、及び、前記可変始動口への入球
に基づいて取得した取得情報を記憶する第1取得情報記憶手段と、
前記始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第2取得情報記憶手段と、
前記第1取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第1識別情報と
、
前記第2取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第2識別情報と
、
前記第1識別情報が変動表示する変動時間を決定する変動時間決定手段と、
前記第1識別情報又は前記第2識別情報の変動表示の結果が特定結果になると、遊技者
に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備え、
遊技球を流下する遊技領域として、第1遊技領域と、第2遊技領域と、を有し、前記第
1遊技領域又は前記第2遊技領域に遊技球を発射して遊技することを可能とした遊技機で
あって、
前記変動時間決定手段は、前記第2取得情報記憶手段の記憶態様及び前記第1取得情報
記憶手段の記憶態様によって設定される変動条件に基づいて、前記第1識別情報の変動時
間を決定する
ことを特徴とするものである。